

中之島ガーデンブリッジ 「橋洗い」に参加！

9月26日に中之島ガーデンブリッジで、北新地まちづくり実行委員会・なにわ八百八橋「橋洗い」実行委員会が主催する市民協働による清掃「橋洗い」が開催されました。

橋洗いは、江戸時代に多くの橋が架けられた大阪の歴史を考えるきっかけ作りや、洗うことによって耐久性を保つこと、様々な人との交流の場という目的で始められ、中之島ガーデンブリッジについては、同委員会や大阪ロータリークラブなどが2005年にスタートし、今回で7回目です。

中之島ガーデンブリッジにスポットを当てているわがまち会議としてもこれは参加せねばと、メンバーもフラシを持って大奮闘！



【メンバーの感想①】

この日は午前11時から、市消防局が放水する中、約300人の参加者たちが、約1時間かけてデッキブラシやタワシなどで橋面や欄干を磨きました。橋を縦半分に2分し、東側から西側へと洗っていきました。使う洗剤は、河川の浄化に使われる有機微生物群「EM菌」を利用したもの。最後は、消防署の方に仕上げ洗浄してもらい、ピカピカの橋へと生まれ変わりました。きれいになった橋は、やはり気持ちのいいものです。

浜田 容子

【メンバーの感想②】

平成17年9月17日に、第1回目の「中之島ガーデンブリッジ」橋洗いが行われました。持参したタワシやブラシで洗うとびっくりするほどの汚れで、シャツやズボンもドロドロになったことが思い出されます。

年々参加者も増え、橋の北側から御堂筋へ続く堂島愛護公園（毎月第一土曜日に清掃）も相乗効果で汚れが減少してきました。ありがたいことです。

増尾 記代香

中之島ガーデンブリッジ LEDライトアップ

8月23日～10月12日の52日間、水の都・大阪の復興を広く伝えるためのシンボルイベントとして「水都大阪2009」が開催され、期間中に様々な灯りプログラムが実施されました。

その中で、既にライトアップされている御堂筋に架かる大江橋、河川を照らす街河灯、阪神高速橋脚のライトアップに加えて、新たなまちの灯りとして中之島ガーデンブリッジもLEDによるライトアップ（試験点灯・水都期間中）がされました！

そこで、10月5日にわがまちメンバーで美しく輝くガーデンブリッジの見学を行い、建設局の担当の方にもお越しいただき話を伺いました。試験

点灯では、橋の東側の高欄にだけLEDが付けられ（御堂筋から多くの人が見るため）、今後どうするかはアンケートの結果次第だそうですが、ライトアップは本当にキレイで、また、防犯対策にもなるので、是非続けてほしいです。なお、光のルネサンスの時には再びライトアップされます★

★光の祈り橋伝説★
12/19(土)の15～21時には、ガーデンブリッジ界隈で、光と音のプログラムが開催されますので是非お越しください♪



- ・堂島川に美しく架かるガーデンブリッジ（写真左）
- ・LEDの輝きがより夜景を魅せます☆（写真中央）
- ・橋の上で話を聞くわがまちメンバー（写真右）



【メンバーの感想①】

建設局の担当の方は、橋の有効利用には、複数の管理部署が複雑に関係し、法的制限や公的立場としての対応姿勢等、解決せねばならない問題があるので簡単には進まないが、地域の要望や協力が推進力のきっかけになると言っておられました。

地域としての要望・アイデアを出して小さな事でも出来ることを一つずつ積み重ね、みんなと一緒に進めていくことで、連帯感も生まれて力強い協力者も出てきます。短期的結果だけでなく、中長期的視点も併せ持って取組む必要性を感じました。

岩井 慶二

【メンバーの感想②】

建設局の担当の方が熱心に話をしてくれました。普通は橋脚を中心に置くが、川での仕事（水面清掃や浚渫）をする船が通りやすくするために、ずらして造られているとの事。へー、すごい技術だと感心。

先日、橋洗いを皆さんでしたのできれいに、また、ライトアップしてあったので嬉しくなりました。ただ、足もとにタバコの吸殻があって、チョッピリだけ残念。

でも、多くの人がこの橋をきれいになりたいと思っている事を伝える事が大切だと思いました。

木下 眞弓

【メンバーの感想③】

広い・安全性が高い・景色が良い・穴場スポット・北新地に近く御堂筋とは異なった味がする等の特徴がある橋で、これらを活かせば面白い地域活性の事業ができると思う。

地元も色々考えておられるが、行政各機関の規制に阻まれ実現できないようだ。また、動いてくれる人が少なくパワー不足と感じる。

市民運動を育てる意味において、行政は規制の範囲を少々越えても前向きに検討願いたいものである。

見学後の交流会では忌憚のない意見が多く出て非常に有意義だった。

壺崎 信行

